

移住者獲得に
向けた具体的
な施策は



津山新星会議
小椋 多

移住

問 施政方針では、地域産材使用の住宅建築について、移住者への助成を拡大し、地元産材の利用促進と定住促進を図るとしているが、移住者に対する助成拡大は何をするのか。

答 国の地方創生交付金を活用して実施するもので、市外から津山市内に移住され新築する方に50万円、リフォームをする方に15万円の上乗せ助成を行うもので既存の助成事業と併せ、新築住宅では最大100万円、リフォームでは最大30万円の助成となる。



樹齢100年のひのきの伐採 (阿波地区)

移住者枠の上限は

どのように設定しているのか。また岡山県の補助と併せると最大いくらになるのか。

答 上限は新築・リフォームを併せて430万円、県が来年度も今年度と同額の助成となれば、併せて120万円の助成額となる。

人口減少対策
市民の
総力を



日本共産党
津山市議団
久永良一

雇用

問 市民、産業界、教育機関、雇用関係団体、行政が共同して立ち向かうことが重要。結婚、子育て、移住者への支援、若い人の雇用改善を図る必要がある。

答 各分野の代表者で構成する組織をつくる。

防災

問 過酷事故が起きれば、津山に放射能が降り、市民は強制移住となる、島根原発再稼働ノゾミを明確にすべきだ。

答 島根原発再稼働は「賛成できない」。

観光

問 城東町並み保存地区へ観光客が増えているが、「どこが重伝建ですか」、「土産店がない」など、期待外れの声が多い。専任をおいて、魅力づくりを急ぐ必要がある。



城東町並み保存地区

人口減少社会
を見据えた
政策の実現に
向けて



緑風会
竹内靖人

防災

問 激甚災害への対応能力が衰えている。建設業者の育成が必要ではない。

答 災害発生時の初期対応に建設業者の役割は大きい。防災工事等を含めた公共工事を毎年計画的に実施していくことが市内建設業者の育成につながるものと思う。

スポーツ

問 少年スポーツをもっと少し誘導してもいいのでは。

答 子どもたちに「生きる力を育む」という視点で人づくりや体力づくりにも取り組んでいる。学校という環境の中で、自己実現を目指すとともに、知・徳・体のバランスがとれ、感性豊かな大人へと成長して欲しい。スポーツと勉学の両立や外遊びなど地域の方々の関わりは重要と考



スポーツを通じて人づくりを

問 木造住宅の地域産材の補助金を利用量に応じて、さらに充実させては。

答 利用者や工務店の意見を伺いながら新たな運用が可能か検討したい。